ルートラボ的サービス 復刻プロジェクト — 全体構想と開発フェーズ計画

作成日: 2025-08-25

# 1. プロジェクトの目的 / ビジョン

- ルートラボ的サービスを個人開発で復刻し、まずは「動く形」を最短で実現する。  
- 将来的に観光事業者向け（B2B）に展開しマネタイズ。同時に一般ユーザー（B2C）向け無料サービスで裾野を拡大。  
- 初期はブログ埋め込み用のMVPに集中し、のちに共通プラットフォームへ橋渡しする。

# 2. MVP（最小実用版）の要件

- 地図上でルートを描画（スナップ式）  
- 保存 → URLシェア / iframe埋め込み  
- ログイン不要、誰でもすぐ使える  
- GitHub Pagesにホスト、IndexedDB保存（端末内）  
- OGPは簡易対応（将来の写真サムネイル拡張を見据えた設計）

# 3. 将来機能（公開版以降）

- 写真添付（撮影写真のGPSで自動配置、位置情報ぼかし）  
- 公開範囲：公開 / 限定公開 / 非公開  
- 参照（引用）カウントとフォーク機能（誰かのルートを取り込む）  
- タグ・カテゴリ、人気ルートランキング  
- PWA化（ホーム画面から起動、オフライン保存）

# 4. 開発ロードマップ

ステップ0（実験）

・GitHub Pagesに置いたテスト版  
・URLパラメータ or GPX保存  
・自分のブログで埋め込み挙動を確認

ステップ1（個人ブログ向けMVP）

・「埋め込みコードを出す」ボタン  
・シェアリンクのOGP（Twitterカード/LINEプレビュー）最適化

ステップ2（一般公開に耐える最小プラットフォーム）

・共通ドメイン（独自 or Supabase/Netlify/Cloudflare Pages）  
・DB保存（/route/123 形式で呼び出し）  
・検索や一覧は後回し。「誰でも描いてシェアできる」を優先

ステップ3（文化を広げる）

・他人のルートを見る・コピーできる（フォーク）  
・タグ/カテゴリ・人気ルートランキング

ステップ3.5（SNS連携の強化）

・写真付きルートのOGPカード最適化（地図＋代表写真）  
・X/LINE/Facebookへワンボタン投稿、キャプション付与

ステップ4（B2B展開）

・観光地公式ルート＋写真スポット  
・埋め込みウィジェットのホワイトラベル提供

# 5. 技術アーキテクチャ（段階別）

MVP:  
・フロント：Leaflet.js  
・ホスティング：GitHub Pages  
・保存：IndexedDB（端末内）  
・DB：なし  
  
公開版:  
・バックエンド：Supabase（PostgreSQL + PostGIS, Auth, Storage）  
・ホスティング：Supabase/Netlify/Cloudflare Pages  
・API：REST or Edge Functions  
・ストレージ：Supabase Storage（将来）

# 6. データモデル（公開版の最小）

[routes]  
- id (nanoid), title, author\_id (nullable), privacy (public/unlisted/private), allow\_forks (bool, default true)  
- fork\_of (nullable), geom (LineString/GeoJSON), created\_at, reference\_count (int, cached)  
  
[route\_references]  
- child\_id, parent\_id, created\_at  
- ユニーク(child\_id, parent\_id) で重複カウント防止  
  
[route\_tags]（将来）  
- route\_id, tag

# 7. API（要点）

POST /routes … 新規保存  
POST /routes/:id/fork … フォーク作成（routesに新規行、route\_referencesに追加）  
GET /routes/:id … 取得  
GET /routes/:id/stats … 参照数など

# 8. URL/埋め込み/OGP

- 共有URL：/route/<id>  
- 埋め込み：<iframe src="/embed/<id>">（UI最小）  
- OGP：/ogp/<id>.png を生成（地図＋ルート）。将来は代表写真を合成

# 9. ポリシー・ライセンス・プライバシー

- 参照カウントは「サーバ保存成功時に1回」カウント  
- フォーク可否：allow\_forks=false で拒否  
- ルート形状：CC BY 4.0 想定。写真は別オブジェクト（元ルートに紐付けない）  
- 位置情報ぼかし（例：半径25m）を将来実装

# 10. 成功指標（初期）

- 1日あたり作成ルート数  
- 参照（フォーク）数・比率  
- 埋め込み経由の閲覧数  
- 共有（OGP表示）回数

# 11. リスクと対策（抜粋）

- 生成負荷（OGP画像）：CDNキャッシュ＋署名パラメータで再生成制御  
- 写真の容量：写真は将来の子ルート専用に分離、遅延実装  
- プライバシー：非公開/限定公開、位置ぼかしを標準装備